

ブルズターフ



遮熱機能で 夏も快適に

遮熱成分を配合したブルズターフは従来品に比べ表面温度を約7℃程度抑えることが可能になりました。

抗菌で 安心

黄色ぶどう球菌・MRSA（メチシリン耐性黄色ぶどう球菌）・大腸菌 O157・サルモネラ菌の4種に対する抗菌試験で、静菌・殺菌効果が見られました。

防災で 安全

公益財団法人日本防災協会に認定された商品ですので自己消火能力が高く燃え広がりにくいので安全です。

静電気発生を 抑制

ブルズターフは静電気除去繊維を5cm間隔で織り込み、放電させることで、静電気の発生を軽減します。

ブルズターフには芝目があり、見る方向によって景観が異なります。

施工の際は必ず現場の状況（よく見られる方向）を確認し、張る方向を決定してください。

背面側



芝目方向→



正面側



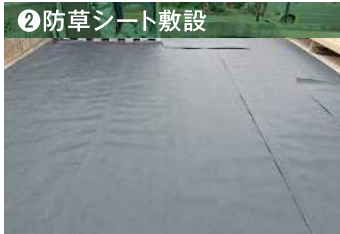
施工手順 (駐車場)

① 整地



予め整地及びランマーで転圧し、地盤を固めます。

② 防草シート敷設



雑草防止効果のあるブルズ防草・砂利下シートを敷設します。

③ ブルズターフ割付



ブルズ防草・砂利下シートの端部をカットする前に、敷地の形状に合わせてブルズターフを仮置きします。

④ 接着



ブルズターフを全て仮置きしたら、位置がずれないようにターフをめくり、裏に専用接着剤をジョイント部、水抜き穴を避けて塗布します。

⑤ ビン固定



接着後、パイルを挟まないようピンを溝に沿って10本/m²で固定していきます。（16mmタイプにはピン打ちしません）

⑥ 完成



端部のブルズ防草・砂利下シートをカットしたあと、残ったパイル等を除去、清掃しパイルをトンボや手で立たせてください。

施工上の注意

- ブルズターフをカットする際はカッターを使用し、基盤の裏から刃を入れてください。
※ハサミを使用すると、必要以上にパイルを切ってしまう、仕上がりが悪くなる恐れがあります。
- 芝の目は正面と背面があるので、好みに応じて設置してください。
- 現場状況（斜面、風が強い場所など）によりピンや接着剤を増やしてください。
- 整地の際、地面を平滑にしてください。地面が凹凸ですとターフ下に空洞が発生する場合があります。
- 斜面への施工には、充分な接着剤塗布及びピン止めを行ってください。ターフが剥がれる恐れがあります。
- 接着の際、接着剤が盛り上がっていると稀に水抜き穴から接着剤が飛出す恐れがありますので、クシ目コテ等で均してください。
- 接着剤を塗布する際、パイルに接着剤がつかないように注意してください。接着剤が付着した場合は、硬化後に取り除いてください。

- ブルズ防草・砂利下シートは雑草の抑制効果を高めるために、2本/m²のピン止めと外周部分の立ち上がりには接着剤で接着してください。
- コンクリート面に施工する場合は、接着剤と両面テープを併用し接着してください。その際、必ず塗布部に“おもり”を乗せ、ターフをコンクリートに押し付けてください。
- 接着剤には速乾性がないので、1～2日の養生期間が必要です。また乾く前に水分を含んでしまうと、接着剤が発泡し膨らむことがあります。翌日の天候も考慮して施工してください。
- 屋上・ベランダで施工する際は構造物と一体化させるため、ジョイント・外周部に接着剤と両面テープを併用し接着してください。
- 人や車が多く通る場所では、必ず全面に接着剤を塗布して接着してください。

養生期間【夏期：1～2日、冬期：3～5日】



ジャパン建材株式会社